

2010年度女性委員会活動方針

はじめに

昨年に行われた衆院選での勝利を機に、連合愛媛の政府に対する立場も大きく変化しました。女性委員会としても自分たちの選んだ政権であるという認識のもと、政治により関心を持ち、一票を投じた責任を自覚し積極的に関わっていくことを目指さなければいけません。

また、「第3次男女平等参画推進計画」のもと、男女の賃金格差や処遇の違いなど働く女性の現状を把握し、問題解決のために労使交渉や意思決定の場へより多くの女性が参画していくことが必要です。まずは女性役員ゼロをなくすことを目標とし、男女平等参画の推進を図っていかねばなりません。職場での男女平等を目指すには、まずは連合愛媛女性委員会において男女平等参画の推進に取り組み、各構成組織、単組と連携し成果をあげていきたいと思えます。

四役にとどまらず、各女性委員それぞれがスキルアップに取り組み、個人ではなく組織として行動することによって生み出される力を理解し、一人でも多くの仲間を増やすため、活動量を増やし、その内容の向上に努めます。

1. 組織運営

現在の連合愛媛女性委員会は、青年委員会と合同で諸活動に取り組んでいます。近年取り組んできた、地域社会の団体との交流支援を積極的に行い、地域に根ざした労働運動を推進します。ボランティア活動、学習会、レクリエーションなどの企画立案、実践によって、連帯感・団結力を高め、リーダーとして自発的に行動できるよう、活動力の向上を目指します。

第3次男女平等推進計画の実行を目指し、組合活動に多くの女性組合員が参加できるよう環境整備を含めた活動を検討および実施します。

3.8国際女性デーの街宣アピール活動を引き続き実施し、その意義を世間に知ってもらうとともに、自らの意識を高め、男女共生社会に向けた取り組みを行います。

2. 教育・学習活動

街宣活動や学習会を主催・参加し女性活動家としての意識の向上を図ります。

連合本部やブロック、外部主催の会議・集会・セミナー等へ積極的に参加し、リーダーとしてのスキルアップに取り組み、すべての女性委員で情報・知識を共有できるよう、フィードバックの場を設けます。

3. その他

幹事会へ、より多くの参加者を集める為には、各組合員の自発的な行動も必要ですが、各産別・単組の代表者に女性委員会の活動意義を理解してもらい、支援を求める必要もあります。従って、各産別・単組の代表者に対して引き続き、より一層の理解ならびに協力を求めます。

活動の輪を拡げるために、仲間同士、四国ブロック、中央組織、関連団体とのネットワーク作りに取り組みます。

社会に少しでも貢献できるよう、ボランティア活動への参加を目指します。

2010年7月に行われる参議院議員選挙を通じて政治に関心を持ち、連合愛媛公認候補者のサポートに努めます。